

# 日本航空グアム線ならびに 安心・安全への取り組み

日本航空 旅客販売推進部

2021/7/1



**JAPAN AIRLINES**



# JALのグアム線

---

# JALグアム線の歴史

## グアム線就航から50年以上の歴史

JALグアム線は、2020年10月1日（木）にグアム線就航50周年を迎えました。

かつては、大阪・名古屋線も運航しており、運航機材もダグラスDC-8に始まり、ダグラスDC-10・ボーイング747-400・

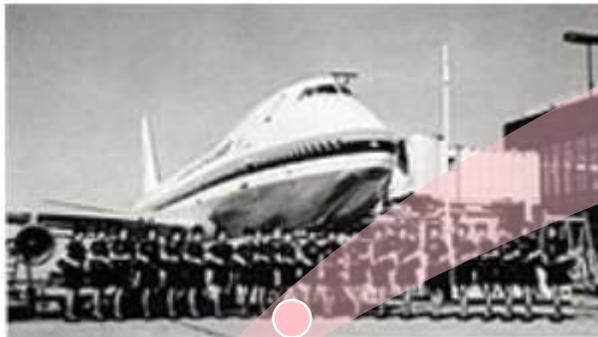
ボーイング767・ボーイング777と時代とともに飛行機の機種やサービスを進化させてまいりました。



2020年は就航50周年を記念し、JAL HPも50周年仕様にリニューアル



2011年2月26日・27日イベント  
The Final Touch down  
“ありがとうジャンボ in グアム空港”での一枚



グアム線（東京＝グアム）開設  
（DC-8型機、週3往復）

# JALグアム線のダイヤ・機材

## グアム線就航ダイヤ

JALグアム線は毎日運航。※2021年9月30日までは運休。

東京（成田）を朝出発、グアムには同日の昼過ぎに到着するため、出発当日からグアムを満喫でき、日本への帰国時は、グアムを夕方に出発するため、旅行最終日までグアムでの有意義な時間をお過ごしいただけます。

便名	運航日	機材	出発時刻		到着時刻
JL941	毎日	SS6	東京（成田） 9：30発	✈	グアム 14：15着
便名	運航日	機材	出発時刻		到着時刻
JL942	毎日	SS6	グアム 16：25発	✈	東京（成田） 19：05着

## グアム線就航機材



国際線JALボーイング767-300ER型機



機材仕様（総座席数：199席　ビジネスクラス：24席　エコノミークラス：175席）

# 座席仕様

## Business Class 「JAL SKY SUITE II」 Economy Class 「JAL SKY WIDER」

「JAL SKY SUITE II」で包まれるようなやすらぎの時間を。トピッチ拡大と座席のスリム化で、フルフラットシートが生む、自由で快適な空間を創造し最大約10cm\*拡がった足元スペース「JAL SKY WIDER」。



1-2-1の座席配列で、ストレスのない全席通路アクセス。



ベッドポジションは完全フルフラットを採用。



「ベスト・エコノミークラス・シート」賞受賞  
※2019年SKYTRAX社による



足元スペースが最大約10cm\*、横幅も約1.7cm\*拡大。



個人モニターは10.6インチサイズのタッチパネル式。

# JALの「安心・安全の取り組み」

---

# JALの「安心・安全の取り組み」

JALではお客さまの声、専門的知見などの情報をもとに、「安全・安心の取り組み」を進めております。

## <ご紹介の流れ>

お客さまの動線に沿って、感染拡大防止への取り組みをご紹介します。



# チェックイン～保安検査場

## チェックイン

- お客さまが触れる機器の定期的な清掃・消毒
- カウンターには対面パーティションを設置
- ⊗消毒液を設置
- ④ソーシャルディスタンス確保のためのアナウンスとポスターの掲示
- ⑤地上係員はマスクを着用
- ⑥抗ウイルス・抗菌コーティングを順次拡大

## 保安検査場

- サーモカメラによる検温（一部空港にて実施）
- 消毒液を設置
- ⊗ソーシャルディスタンス確保の案内設置

地上係員のマスク着用



パーティションの設置



定期的な消毒清掃



ソーシャルディスタンス確保の案内



### <海外空港の事例紹介>

感染拡大防止の取り組みは海外空港でも実施しております。

<香港国際空港>



<バンクーバー国際空港>



<ロンドン・ヒースロー空港>



## ラウンジ

### ①お食事の提供方法の変更

日本国内・海外 国際線ラウンジ：個食・個包装でのサービス、  
係員による提供サービスに順次変更

### ②パーティションの設置（一部空港にて実施）

### ③お食事エリアでの消毒拭き掃除・空間除菌

（噴霧機による空間除菌は羽田・那覇空港にて実施）

### ④お客さまどうしの間隔確保のための距離空けシールを設置

### ⑤抗ウイルス・抗菌コーティング（羽田・成田空港にて実施）

## <海外自社運営ラウンジの事例>

バンコク、フランクフルト、サンフランシスコ、ホノルルサクララウンジは  
感染拡大防止の取り組みを徹底しながら、運営を継続しております。

### 感染拡大防止の取り組み例

- ・お食事は個包装にてご提供
- ・消毒液の設置
- ・カウンター、座席間にパーティションを設置
- ・距離空けシール設置

ラウンジ受付、ラウンジ内の対面座席に  
パーティション設置



消毒拭き掃除



消毒液設置



係員のマスク・手袋着用



<ホノルル>  
座席間にパーティション設置



<バンコク>  
カウンター設置消毒液



<サンフランシスコ>  
ラウンジ内距離空けシール



# ご搭乗～機内①

## ご搭乗

- ①係員のマスク着用
- ②お客さまを段階的に飛行機へご案内

## 機内（機内環境の清潔化）

- ③機内は清潔な環境を保持
- ④国際線機材は毎便機内消毒
- ⑤客室乗務員はマスク並びに手袋を着用
- ⑥清掃/除菌の定期的な実施、また、除菌シートを用意
- ⑦トイレに手指消毒スプレーを配備
- ⑧座席や収納棚・壁面などの抗ウイルス・抗菌コーティング

係員のマスク着用



お客さまの人数を区切って機内のご案内



機内消毒の様子



トイレ内手指消毒スプレー



抗ウイルス・抗菌コーティング



除菌シートの提供



## 機内の空気循環について

### ポイント1

常に機外から新鮮な空気を取り入れ、2分～3分程度という短い時間ですべて機外に排出されます。

### ポイント2

機内を循環する空気は、高性能空気フィルター\*を通ることにより清潔に保たれます。

### ポイント3

客室内の空気は、常に天井から床下へ流れて特定の場所に滞留はしません。

\*High-Efficiency Particulate Air(HEPA)Filter、0.3 $\mu$ mサイズの粒子に関して99.97%以上の粒子を捕集します。  
直径0.1 $\mu$ m程度の新型コロナウイルスは、不規則な動きをするため、フィルター繊維にあたって捕捉されます。

## 機内（一部サービスの変更）

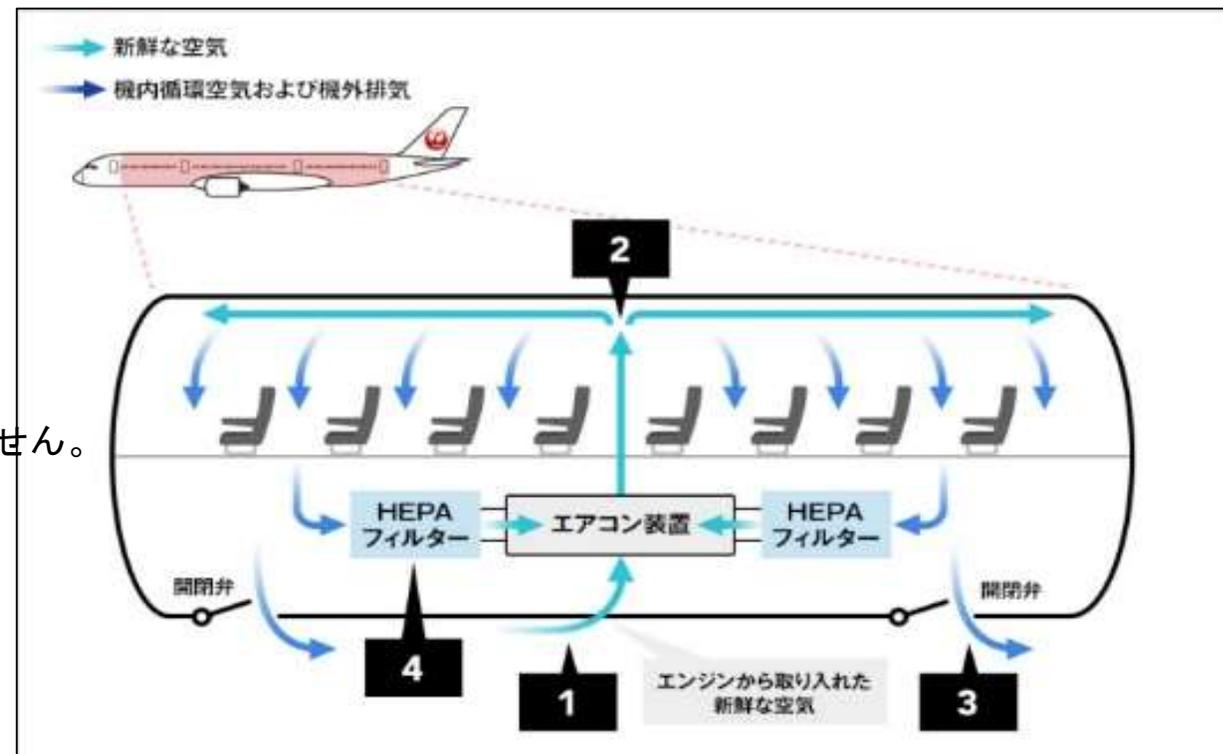
全クラス共通

ファーストクラス

ビジネスクラス

エコノミークラス

- ・おしぼりを個包装の使い捨て紙おしぼりに変更
- ・雑誌の貸出しサービスを中止
- ・雑誌の貸出しサービスを中止
- ・機内食サービススタイルをお皿を差し替える
- ・スタイルから トレーを中心としたサービス機内食変更蓋を被せたまま、または個包装された状態で提供



1. 機外の空気をエンジンで圧縮し機内へ送り込む
2. エアコン装置で温度調整し、天井から客室内に送風
3. 客室内の空気は、機内外の差圧により床下に流れ、胴体下部にある開閉弁を通して機外へ
4. 床下に流れた空気の一部をHEPAフィルターで清浄し送風量を増加

# より安心してご利用いただくための取り組み

---

# 新型コロナウイルス感染症サポート「JALコロナカバー」



国際線ご利用のすべてのお客さまに渡航時の新型コロナウイルス感染症無料サポート「JALコロナカバー」

- ◆対象期間：2020年12月23日～2021年9月30日（水）ご搭乗分
- ◆対象便：JAL国際線（JAL便名JAL運航に限ります）
- ◆有効期間：JAL国際線のご搭乗日から31日間有効

※ただしお客さまの居住国内の支援はございませんので、居住国に戻った時点で失効となります。

## 【JALコロナカバー4つのポイント】

**ポイント1** 渡航先で感染を疑う症状が出た場合、24時間無休で医療・宿泊手配に関するご相談窓口（日本語対応も可能）

**ポイント2** 新型コロナウイルス感染症陽性判定時の渡航先での医療費・検査費・隔離費用をサポートいたします。

**ポイント3** 医師や保健局から濃厚接触者と判定された場合や、発熱などの疑わしい症状があり検査や隔離を要請された場合の、陽性判定前の隔離・宿泊費用をサポート(\*1)  
(\*1) 「JAL国際線第一区間が2021年7月1日以降の場合」のみ適用

**ポイント4** 上記のサービスは無償かつ事前申し込み不要でご提供いたします。

[www.jal.co.jp/jp/ja/inter/jalcoronacover/index.html](http://www.jal.co.jp/jp/ja/inter/jalcoronacover/index.html)

※サポートを受けるには事前連絡が必要です。新型コロナウイルス感染が疑われる場合は必ずJALコロナカバーサポートにご相談ください。



# 3つのデジタル証明書アプリ

## 「コモンパス」、「VeriFLY」、「IATAトラベルパス」との取り組みを開始

「コモンパス」・「VeriFLY」・「IATAトラベルパス」について、JAL運航便での利用に向けて実証実験などの取り組みを行ってお



### 【デジタル証明書アプリとは】

ご搭乗者のスマートフォンなどのデバイス上で、医療機関からの新型コロナウイルス検査結果の参照・管理ができ、渡航先の入国検疫要件の確認や、ご搭乗手続きなどの際に渡航資格を提示することができる専用のアプリです。空港でのチェックイン時に、デジタル証明書アプリの画面を提示することで、ご搭乗手続きをスムーズに行うことができたり、

将来は渡航先の入国検疫でもご利用いただけるようになります。

### 【各デジタル証明書アプリについて】

#### ■VeriFLY

##### ◇特徴

アメリカのDaon社が開発したアプリで、アメリカの一部路線では既に導入。お客さまは、検査結果などの登録や渡航先の入国要件に合わせた準備書類などの確認を、事前に参照・入力・管理可能。登録した情報に基づく渡航資格をアプリ画面に表示させ、チェックインカウンターにて提示することで、搭乗手続きをスムーズに進めることが可能。

##### ◇実証実験

対象期間：4月26日(月)～7月25日(日)

対象路線：日本発米国内行き  
(ハワイ州・アラスカを除く)



#### ■IATAトラベルパス

##### ◇特徴

IATA（国際航空運送協会）が推進しており、当社を含む世界23社の航空会社が実用化に向けた取り組みに参加。当社は3月15日よりIATAトラベルパスの試験導入プロジェクトに参画。医療機関から検査結果などを受領する仕組みと、結果を踏まえて入国要件を満たしているかの検証が可能。

##### ◇実証実験

対象期間：6月15日～7月11日(ご出発分)  
\*期間は状況に応じて変更となることもございます。ご了承ください。

対象路線：東京(羽田)=ホノルル線



#### ■コモンパス

##### ◇特徴

スイスの非営利組織、コモンズ・プロジェクトが世界経済フォーラムの連携で推進。医療機関から発行される検査結果が受入国の入国基準を満たしているかをコモンパスが検証し、検査結果をデジタル証明する仕組み。

##### ◇実証実験

対象期間：2021年4月2日、5日  
(実施済み)

対象路線：羽田=ホノルル線、  
成田=シンガポール線

それぞれ特徴をもつデジタル証明書アプリを連携を進めることで、お客さま一人一人のニーズにお応えしながら、安全・安心でスムーズな渡航の実現に向けて取り組んでまい

# JALの「安心・安全の取り組み」

## アジアで初めて世界最高水準の評価をダブル

**受賞** 英国の航空会社評価機関であるSKYTRAXの「Covid-19 Safety Rating」で最高評価の5スターを獲得。

- 米国の非営利団体APEXの監査「Health Safety Powered by SimpliFlying Audit」で最高評価の「Diamond」を獲得。
- 衛生・清潔性の取り組みのみならず、非接触・自動化や航空旅行のサポートなど、感染症対策全般が評

### 【世界最高水準と評価されたJALの取り組み】

評価ポイント	取り組み
① 衛生・清潔性	・【空港】抗ウイルス・抗菌のコーティングを順次実施 ・【機内】航行中の機内の化粧室清掃の強化および清掃時の客室乗務員の防護服着用、夜間の消毒、こまめな清掃の実施に加え、清掃効果のモニタリング・検証など清掃体制の強化を開始
② 非接触・自動化	・【空港】自動手荷物預け機の導入 ・【空港】タッチレスセンサや、遠隔操作ロボットの実証実験を行うなど、非接触サービスの推進に向けて最新のテクノロジーを積極的に活用
③ 航空旅行のサポート	・PCR 検査機関との提携(国内線) ・JAL コロナカバー( <a href="https://www.jal.co.jp/jp/ja/inter/jalcoronacover/">https://www.jal.co.jp/jp/ja/inter/jalcoronacover/</a> )(国際線)

JAL とカタール航空)とな



JALグループでは皆さまのご意見を踏まえて、今後も感染防止に向けた取り組みを強化してまいります。

ご清聴ありがとうございました